

にいがた教育フォーラム

2023 in August

Zoomを使ったオンラインでの
リモート研修会

令和5年8月5日(土)

後援 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会(申請中)

テーマ「コロナ後の新しい教育実践の構築に向けて」

1 日時 令和5年8月5日(土) 13:00~16:45 (入室 12:45~)

2 日程と内容

【開会】13:00~13:15 ①研究科長挨拶 ②本フォーラムの進め方の説明

【ワークショップ】13:15~14:45 **詳細2面**

・本大学院教員主催のワークショップから一つ選択して参加します。

【ラウンドテーブル】15:00~16:35 **詳細3面**

・本学院生による研究紹介や話題提供をもとに自由に話し合います。

【閉会】16:35~16:45 ○副研究科長挨拶

3 参加申込について **詳細4面**

事前申込が必要です。参加費無料。4面のQRコードでお申し込みください。締切：令和5年7月28日(金)

4 問合せ先 新潟大学大学院教育実践学研究科

E-Mail : forum2023niigata@gmail.com URL : <http://www.ed.niigata-u.ac.jp/kyousyoku/>

◎ 下のワークショップから一つを選び、お申し込みください（申込方法は4面）。

1 寝るべき時刻にちゃんと眠くなる習慣づくりの心理学			
話題提供：新潟市立新潟小学校	教諭	佐久間由希 氏	担 当：神村栄一
：新潟市立亀田西小学校	教諭	有本真秀子 氏	定 員：200名程度
2 園を越えて学び合おう：新しい保育を語り合う研修のかたち			
話題提供：東京家政大学	教授	野口 隆子 氏	担 当：中島伸子
：新潟大学附属長岡幼稚園	教諭	水瀬 正大 氏	定 員：なし
：聖籠町幼児教育コーディネーター	地主	浩美 氏	
		鈴木 裕子 氏	
3 今、改めて考える 「聴く」ということ ～困り感に寄り添う視点から～			
話題提供：阿賀野市立水原小学校	校長	鈴木 正彦 氏	担 当：酒井武志
			定 員：30名
4 これからの校内授業研究の在り方を模索する ～公立小学校の事例から～			
話題提供：札幌市立有明小学校	校長	松田慎一郎 氏	担 当：有井優太
指定討論：新潟大学附属新潟小学校	教諭	中野 裕己 氏	定 員：100名
：新潟大学教職大学院	M1	川崎 智也 氏	
5 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の往還によるこれからの授業をどのようにデザインするか			
話題提供：新潟市教育委員会	学校支援課		担 当：高橋恒彦
	課長補佐	内藤 浩悟 氏	定 員：なし
：新潟市立女池小学校	教諭	落合 悠太 氏	
6 校内における教職員人材育成			
話題提供：新潟市立浜浦小学校	校長	小林 圭一 氏	担 当：酒井 悟
：柏崎市立鯖石小学校	教頭	松井 陽一 氏	定 員：なし
7 学びの構造を通して考える家庭科授業づくり			
話題提供：新潟大学附属長岡小学校	指導教諭	関 慎太郎 氏	担 当：高木幸子
新潟大学附属新潟小学校	教諭	小川 有美 氏	定 員：20名程度
8 中学校数学における問題解決学習：普段の授業づくりを考える			
話題提供：新潟市立上山中学校	教諭	関谷 卓也 氏	担 当：阿部好貴
：新潟大学附属新潟中学校	教諭	橋本 善貴 氏	定 員：なし
：新潟大学教職大学院	M2	中澤 啓介 氏	
9 通級指導教室の指導の実際と在籍校との連携を考える			
話題提供：新潟大学附属特別支援学校	教諭	西山 有沙 氏	担 当：長澤正樹 野住明美 佐藤大介
：新発田市立東豊小学校	教諭	八藤後和男 氏	定 員：100名
：新潟県立新潟よつば学園	教諭	本間 道子 氏	
10 総合的な学習・探究の時間で、小学校・中学校・高等学校に通底する大切な学びは何か			
話題提供：新潟大学附属新潟小学校	指導教諭	梅津 祐介 氏	担 当：田代 孝 宮蘭 衛
：新潟大学附属新潟中学校	指導教諭	田中 健太 氏	定 員：30名
	教諭	山貝 洋輔 氏	
：新潟県立新津高等学校	教諭	小林 真也 氏	
11 コロナ禍で培った経験をどのように活かしていくか ～小学校体育授業について語り合う～			
話題提供：武蔵野市教育委員会	指導主事	浅川 泰裕 氏	担 当：大庭昌昭
			定 員：50名

【ラウンドテーブル】

◎ 下のラウンドテーブルから興味のあるテーマを選んで参加します（参加申込方法は4面）。

本学教職大学院の院生が各自の研究をもとに話題を提供します。参加者の皆様と交流しながら、互いに研究の成果と課題の意味を深めていきたいと思えます。

【テーマ】 前半 15:00～15:45	【発表者】
協働性を高める校内研修	M2 井上 美恵
小学校国語科における子どもの対話的学びを促す教師の働きかけ	M2 木村 卯乃
不登校傾向・不登校の抑止と早期対応の実際 ～不登校リスクの見立てとちょっぴり厚めな支援を進める校内連携～	M2 牛腸 昌克
メタ認知的活動の支援によって生徒の数学問題解決はどのように変わるのか	M2 中澤 啓介
運動が苦手な児童の運動有能感を高める授業づくり	M2 中山 尚人
【テーマ】 後半 15:50～16:35	【発表者】
学校のチーム力を高めるための実践的研究 ～大規模中学校での対話を促す職員研修を通して～	M2 岡村 芳倫
認知プロセスの外化の質的变化の検証 ～生徒の自己理解を目指す特別支援学校高等部の授業実践～	M2 倉田 彩子
社会的事象の見方・考え方を働かせた小学校社会科の授業づくり ～OPPA評価（一枚ポートフォリオ）の活用～	M2 船戸 祐英
保健体育授業および学校保健活動を組み合わせた睡眠教育の取組が中学校の生活の質に及ぼす効果	M2 堀 里也
自己内省と他者との関わりが児童の自尊感情に及ぼす影響を考える～特別活動や道徳科の実践から～	M2 松井佳奈子
【参加方法】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ラウンドテーブルは5人ずつ前後半に分かれて、一人45分ずつ行います。 ・ 興味のあるラウンドテーブルを選び、Zoomで参加します。 	

オンライン講座に関わるお願い

- ① Zoom 使用時は（所属・氏名）表記にご協力願います。
- ② 当日の不慮の状況で講座に参加できなかった（通信が途絶えてしまった）場合に即時対応が難しい場合がございます。あらかじめご了承ください。後日、フォーラムに関する資料、限定公開の動画の URL、資料をお送りさせていただきます。
- ③ 参加いただく際には、個人的な録画、録音、スクリーンショット等での記録はご遠慮ください。共有した資料の公開に際しては担当者にお尋ねください。

- ◎ 参加希望の方は、下記のQR コードから申込みフォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。
- ・新潟大学教職大学院「にいがた教育フォーラム」は、どなたでも参加できます。
 - ・本会はリモートでの開催です。お申し込みいただいた後、Zoom のアクセス方法、当日使用する Zoom のミーティング ID とパスコード等についてメールにてご連絡いたします。

1. メールアドレス
2. お名前
3. ご所属
4. 職名
5. 参加希望 (全日程・ワークショップのみ・ラウンドテーブルのみ)
6. ワークショップの希望
7. ラウンドテーブルの希望

【QR コード】



◎ 申込み締切り **令和5年7月28日(金)**

<https://forms.gle/2L4jhNUMU2voCzeR9>

◎ その他

- ・ご記入いただきました個人情報は、本申込み以外には使用致しません。
- ・各ワークショップについて、定員に達した場合は、参加をお断りさせていただく場合があります。お断りする場合は、お申し込みいただいたメールに返信してお知らせします。
- ・参加申込みに関するお問い合わせは forum2023niigata@gmail.com をお願いいたします。
- ・大学事務等への電話・メールによる申込みはできませんので、ご注意願います。

「にいがた教育フォーラム2023」に参加される教職員の皆様へ

<新潟県>このフォーラムの参加者は、所属長の判断により、「自主研修」として研修履歴記録シートに記入することも可能です。

<新潟市>このフォーラムの参加者は、「中堅研修」及び「第3ステージ研修」の講座の対象となります。

- ・なお、その他の地域から参加される教職員の方々におかれましては、このフォーラム参加による研修としての取り扱いについては、勤務校の所属長に事前にご確認ください。

参加者の声～これまでのアンケートから～

とてもアットホームな雰囲気です。話すことができ、よかったです。日頃の悩みなどを話す中で、9月からがんばりたいこと、やってみたいことが見えてきました。

共通のテーマがある様々な方と話をすることができて、自分の考え・価値観を深めることができました。少人数でとても語り合いがしやすかったです。

